

研究機関で雇用する特別研究員-PD 等の育成方針

1. 若手研究者育成方針

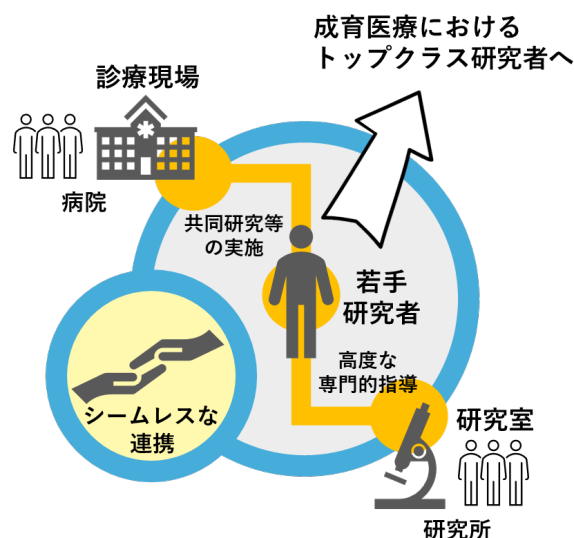
・ 育成理念

若手研究者が世界トップクラスとして活躍し、成育医療の発展に貢献する人材となることを目指し、基礎・応用研究から成育医療発展への視座を持った若手研究者の育成に取り組めます。

・ 育成方針

国立成育医療研究センターは、診療現場と研究室のシームレスな連結により病院と研究所が一体となり、健全な次世代を育成するための医療と研究を推進しています。世界の医療や医学を革新する優れた成果を生み出すためにも、将来の成育医療と研究を担う研究者、医師、医療者の育成は極めて重要であり、センターとして力を注いでいます。

若手研究者には、生命科学的知見を積極的に深め、優れた独創性、高度な専門性の認められる研究を推進する力を身につけること、また、若手医師は臨床経験から得られるクリニカルクエストを大切に、リサーチクエストを形成し科学的思考を深めることを期待し、育成に取り組んでいます。



2. 雇用 PD 等の育成に係る具体的な取組

センターは、若手研究者がプロジェクト実行力、成果発信力、組織マネジメント力を含む研究遂行の能力を身につけ、将来 PI として活躍できる人材となることを目標とし、下記に掲げる事項に取り組めます。

また、センター内での研究分野を越えた交流、さらに研究者・医師・産業界が交流できる環境整備も進めていきます。

- ① 国立成育医療研究センターでは、ゲノム・エピゲノム研究、再生医療、幹細胞研究、遺伝子治療、社会医学研究など様々な分野の最先端の研究が行われています。各研究部室での指導とセンター内での共同研究によって、若手研究者を高度な専門性や

マルチスキルを持つ世界トップレベルの人材への育成を目指します。

- ② 若手研究者を対象とするセミナーを開催し、研究費獲得や論文作成の技術指導を行う場、また、専門家に英文作成や統計の指導を受ける機会を設けています。
- ③ 定例セミナーや研究成果発表会などを定期的に開催し、若手研究者が成果を発表し、評価を受ける機会を設けています。
- ④ ナショナルセンター間の連携による若手研究者の交流機会を提供します。さらに、多くの大学や医療機関との連携体制を活用し、分野を越えた研究者との交流を可能にします。
- ⑤ センターでは「ダイバーシティ実現推進室」を中心に女性活躍支援を行っており、この一環として、ベビーシッター費支援や搾乳室整備など女性研究者が安心して研究に取り組める環境整備を行っています。

